

2024年4月4日 (木)

# 社会環境学部

## 新入生ガイダンス

本日 (4月4日木) 15:00~16:30 C301教室

- プレイスメントテスト
- 棚田ボランティア活動の紹介
- **ここは未来教育推進事業の説明**

□ 履修相談カフェ(希望者のみ) 16:45~ D320教室

# とこは未来教育推進助成事業

常葉大学では、18年後の「常葉」のさらなる基盤の構築を目指し、学部・学科の特色ある教育の強化と個別最適化に適した学びを推進するために、新たな支援経費制度「とこは未来教育推進助成事業」を創設しました。

最大4事業年度をかけて、各学部・各学科のオリジナリティーあふれる事業を実施し、学生一人ひとりの個性と能力を伸ばすさまざまな取り組みを行います。

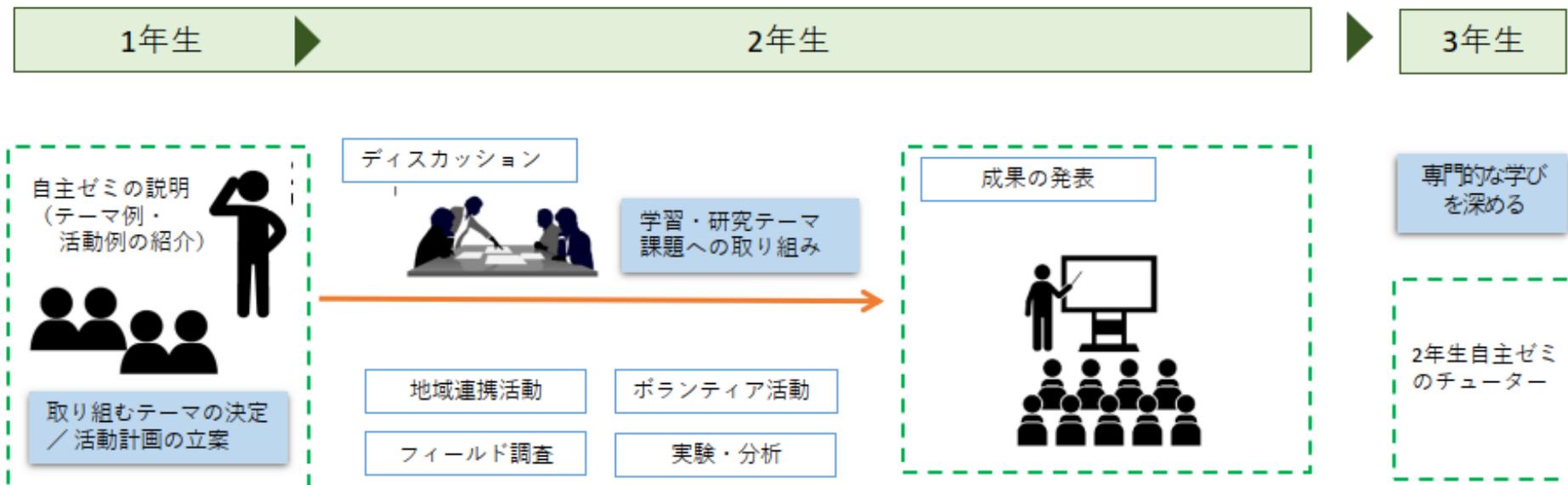
また、10学部19学科を擁する静岡県内最大の私立総合大学のスケールメリットを活かし、他学部・他学科と共同で事業を実施することで、学生の満足度を高める魅力的な大学づくりを進めていきます。 <https://www.tokoha-u.ac.jp/university/outline/tokohamirai6p/>

令和6年度とこは未来教育推進助成事業 採択一覧

No.	申請単位	申請組織（学部・学科名）	助成事業名
1	学科単位	グローバルコミュニケーション学科	<a href="#">国際派社会人育成プログラム : beyond the boundaries</a>
2	学部単位	造形学部	<a href="#">デジタルクリエイティブオンライン講座推進事業</a>
3	学科単位	静岡理学療法学科	<a href="#">デジタルトランスフォーメーション（DX）による個別教育の推進と学修成果の可視化実現</a>
4	学科単位	こども健康学科	<a href="#">保育者養成課程における実践力向上を目指した教育支援体制の整備と補完ーこども健康学科の教育的柱としての自然教育プロジェクトの提案ー</a>
5	学部単位	保健医療学部	<a href="#">ICTを活用した個別最適化教育による教育の質的向上を目指す事業</a>
6	学部単位	経営学部	<a href="#">DX時代における経営人材の育成推進 -学生主体のピアサポート・コミュニティと産学連携による裾野拡大</a>
7	学部単位	社会環境学部	<a href="#">自主ゼミ探究型学習 ～環境・防災・地域の課題への取り組みを通じて～</a>
8	学科単位	看護学科	<a href="#">看護学におけるICTを活用した主体的学修プログラムの構築</a>

### 事業の概要

- 自主的に設定した課題解決のためにみんなで考え、力を合わせて主体的経験を共有する仕組みを提供する。
- 主として1・2年生を対象に、自ら学びたい内容や探究・研究したいテーマを決め、設定した課題の解決に向けてメンバーどうしで議論し、力を合わせて主体的に学習・研究に取り組む。
- 教員はテーマの決定や学習の進め方について助言し、学生が主体的経験を共有し取り組みを進められるようサポートする。



## 達成目標・期待される効果

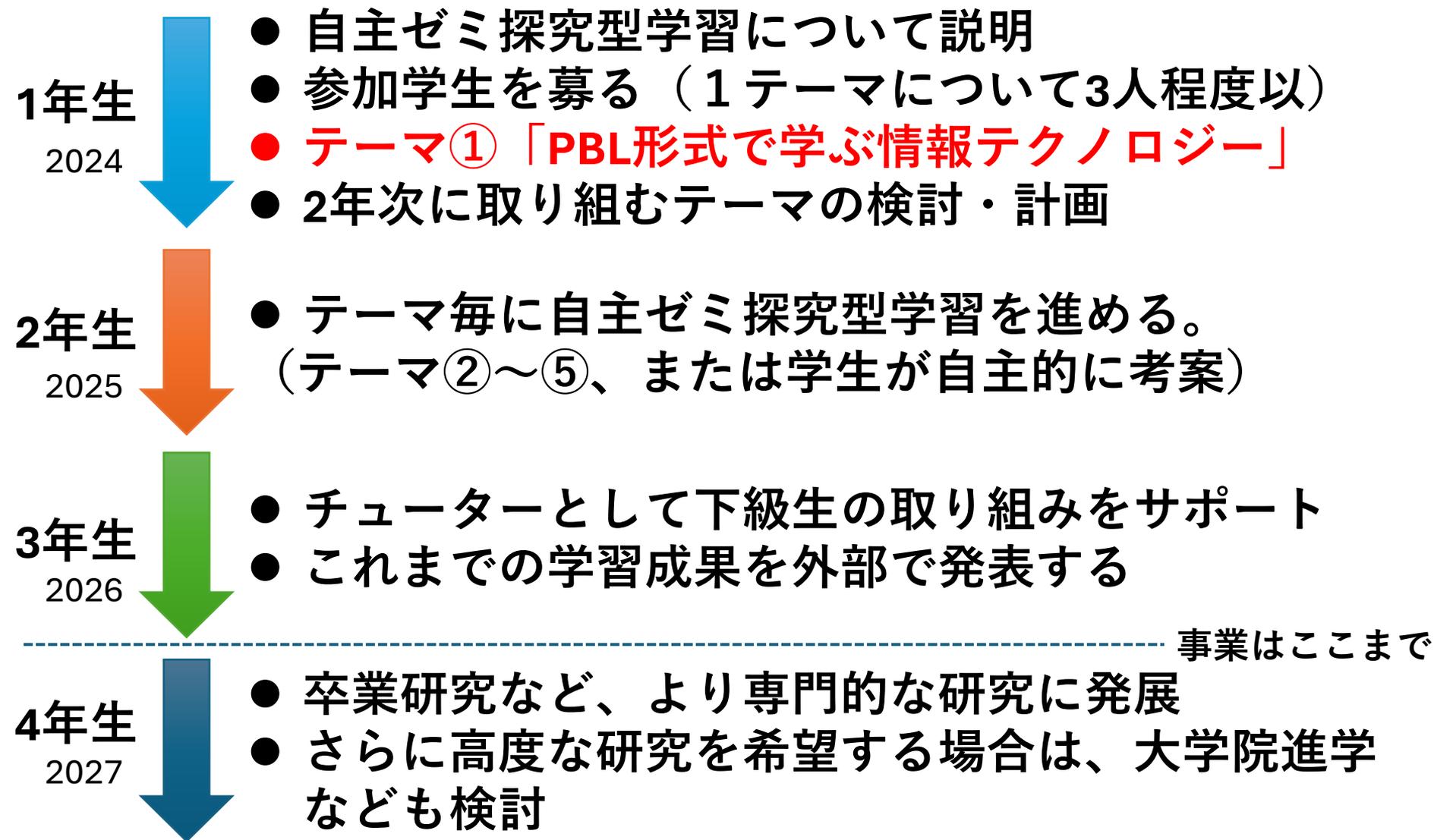
- **より深く学びたい、研究したい**という学生に活動の場を提供することで主体的に学び研究する姿勢を醸成。
- 1・2年生を対象とし、特に2年次における**主体的な学習**を支援することで、3年生からの専門分野への橋渡しとなる。
- 2年間を通してこの**事業を経験した学生が後輩のチューター**となることで、学年間の連携が期待できる。

## テーマ例

- ① **PBL形式で学ぶ情報テクノロジー**（担当：磯博、喜久川功）
- ② **非営利組織との協働に基づく環境課題解決の取り組みと成果の共有・発表**（場所：静岡県内外の特定非営利活動法人などを想定）（担当：石川雅典）
- ③ **リバーフレンドシップ制度を活用した地域河川の環境保護と生態系保全**（場所：静岡市）（担当：小杉山晃一）
- ④ **地域の水循環と水質保全方法を学ぶ実習**（場所：静岡県、静岡市）（担当：山田建太、黒田真史）
- ⑤ **陸の豊かさも守ろうプロジェクト ～SDGsを意識した社会実装教育プログラム～**（場所：静岡県、富士市・富士宮市）（担当：三井哲雄、池田雅彦）

学生に選択されなかったテーマは実施しない。また、上記テーマ以外に学生が自主的に考案したテーマを事業として進める場合がある。

# 本事業の流れ

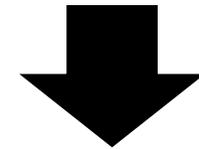


本事業では、探究型学習に必要な旅費や、教材・図書購入費、調査に必要な消耗品類の購入費、イベント・発表会等の参加費などを補助する。

# 一般的な大学4年間の流れ



本格的に研究（探究学習）を始めるのは4年生の4月以降。  
就活や教育実習などで研究の時間が不足。



本事業のねらい  
早い時期から、自主的な探究学習・研究に取り組むことで、より高度な知識や技術の習得。  
将来の進路に向けた業績・ガクチカの蓄積。

## 注意事項

- 卒業に必要な単位が取得できるわけではありません。
- 講義のように時間割や集まる場所が決まっているわけではありません。
- テーマによっては、土日祝日や夏休み春休み期間に活動する可能性もあります。

# 2024年度\_社会環境学部\_ここは未来 教育推進事業エントリーフォーム



## エントリー方法

- 左のQRコードからフォームにアクセスしてエントリーしてください。
- 締切：2024年4月25日  
(水)

締切後に参加を希望する場合は、  
山田までご連絡ください。

[yamadak@sz.tokoha-u.ac.jp](mailto:yamadak@sz.tokoha-u.ac.jp)

ここは未来教育推進事業エントリーフォームです。少しでも興味がある学生は、まずはエントリーしてください。その後に、辞退することもできます。エントリーする学生は、学籍番号、名前を記入し、興味のあるテーマにチェックをして送信してください。このフォームでエントリーした学生には、後日説明会などの連絡がメール等で届きますので、大学で配布されたメールアドレスを使えるようにしておいてください。また定期的にメールを確認するようにしてください。

# PBL形式で学ぶ 情報テクノロジー

担当：磯博・喜久川功  
(喜久川が説明を行います！)

# 概要

※本テーマでは・・・

- AIやビッグデータといった最新の**情報テクノロジー**を**学習**した上で、
- **各学生が課題**（例えば、独自の情報サービスや情報コンテンツの開発、情報社会が抱える問題の解決法の提案、など）を**設定**し、
- 各自が課題達成に向けた**計画を立案**し、**自発的に学習**し、
- 切磋琢磨を意図した**意見交換会**を**グループ**で行い、
- **適宜計画**を見直しながら**進めていく**

# 概要

- これらの活動をスムーズに展開するために、教材「PBLサポートパック」を使用します

PBLを校内で実現する  
オールインワンパック教材



## PBL サポートパック

PBLを学校内で完結させるための教材をセットにしたお得なパックを企画開発しました。

全てデータ納品なので、一度ご購入いただければ永続的にご利用が可能です。

[お問い合わせはこちら](#)



引用：<https://senpaitalk.com/pblsupport/>

## 【解説動画の例】

引用：<https://senpaitalk.com/pblsupport/>

### ●情報テクノロジーに関する内容

#### テクノロジーが変える社会

---

AIやビッグデータをはじめ、日々新しいテクノロジーが誕生し、私たちの生活を大きく変えています。

このジャンルでは各テクノロジーの理解をした上で、テクノロジーを生かした新しいサービス、課題解決を考えていくテーマがセットになっています。

### ●PBLで必要とされるスキル系の内容

#### スキル動画教材

PBLで必要となるスキル系の講座を動画教材としてご用意しました。

一本あたり15分で構成されているので、授業で放映してワークを挟ませてもいいですし、お使いのイントラサイトにアップして自習用としてご利用いただくことも可能です。

全部で10本の動画教材が全てセットになっているので、貴校のカリキュラムに合わせてご利用いただけます。

# 概要

## PBLとは？

PBLとはProject Based Learningの略で、近年注目度が急激に上がっている教育手法です。何らかのプロジェクトを通して生徒に深い学びを与えます。

PBLでは、生徒が現実の課題や問題を積極的に調査することで、より深い知識を身につけると考えられています。

ただし、日本のこれまでの教育とは根本的に方法論が異なるため、教育現場では導入にあたって様々な課題が生じます。←そこで、サポートパック

# 概要



## チームビルディング

チームビルディングに適した複数の解説動画を収録。参加人数や実施場所（教室や体育館など）に合わせて最適な素材をお使いいただけます。動画を再生・停止するだけでチームビルディングワークの実行が可能です。

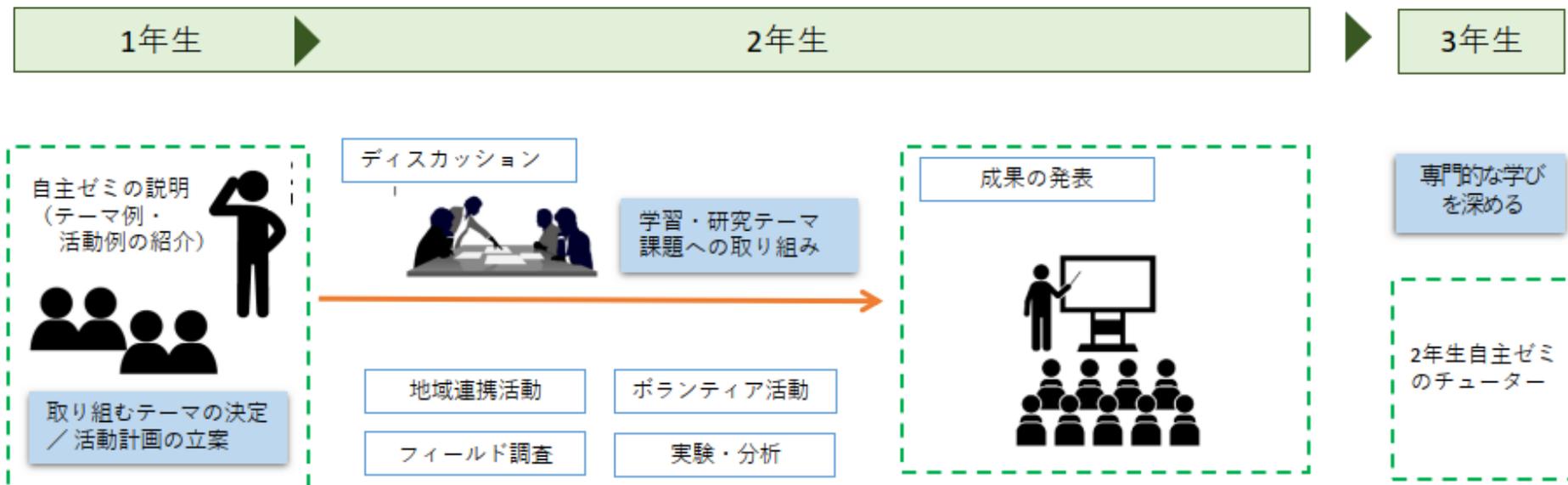


## お役立ちワークシート

生徒が取り組むための行動表や、ビジネスサービスを考えるためのバリュープロポジションマップなど、各種ワークシートがセットになっています。

### 事業の概要

- 自主的に設定した課題解決のためにみんなで考え、力を合わせて主体的経験を共有する仕組みを提供する。
- 主として1・2年生を対象に、自ら学びたい内容や探究・研究したいテーマを決め、設定した課題の解決に向けてメンバーどうしで議論し、力を合わせて主体的に学習・研究に取り組む。
- 教員はテーマの決定や学習の進め方について助言し、学生が主体的経験を共有し取り組みを進められるようサポートする。



## 「自主ゼミ探究型学習～環境・防災・地域の課題への取り組みを通じて～」

### 事業の概要

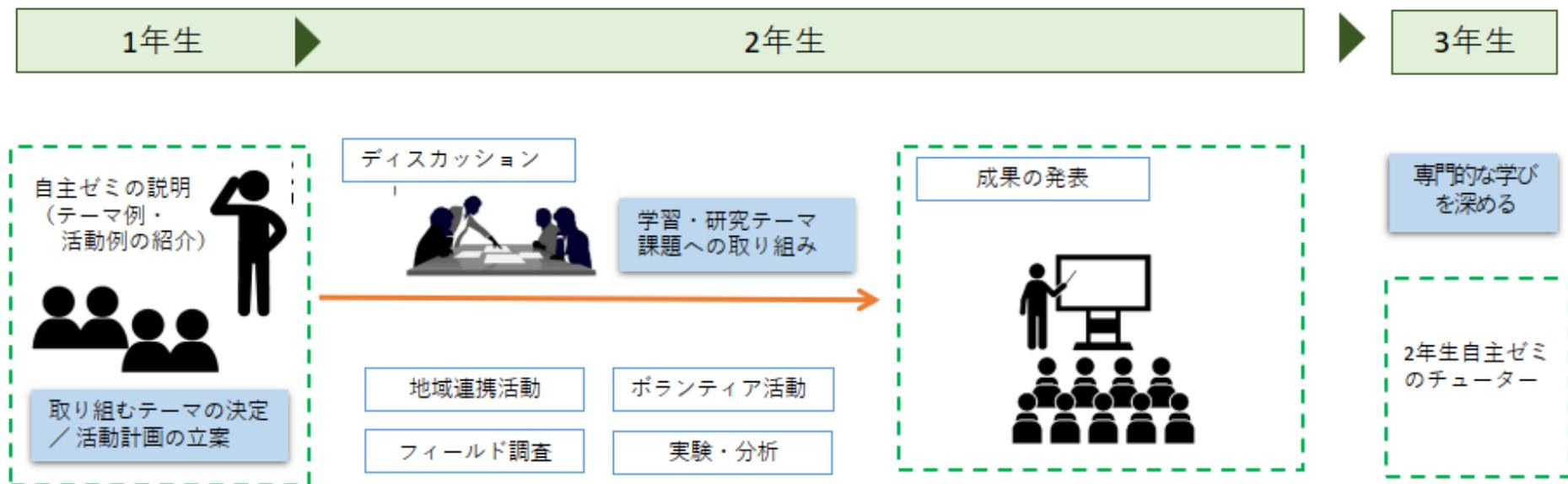
- 自主的に設定した課題解決のためにみんなで考え、力を合わせて主体的経験を共有する仕組みを提供する。
- 主として1・2年生を対象に、自ら学びたい内容や探究・研究したいテーマを決め、設定した課題の解決に向けてメンバーどうしで議論し、力を合わせて主体的に学習・研究に取り組む。
- 教員はテーマの決定や学習の進め方について助言し、学生が主体的経験を共有し取り組みを進められるようサポートする。

[https://www.tokoha-u.ac.jp/media/2024\\_07-syakaikankyou.pdf](https://www.tokoha-u.ac.jp/media/2024_07-syakaikankyou.pdf)

➡ 「PBL形式で学ぶ情報テクノロジー」について、サポートパックを用いて学び、その後、各自で課題を設定し、学習を展開していく！

# 情報担当教員が対応可能な分野

情報担当教員	対応可能な分野
喜久川	<ul style="list-style-type: none"><li>● プログラミング</li><li>● データ分析とデータの可視化</li><li>● Web開発</li><li>● データベース</li><li>● 情報システム的设计</li><li>● プロンプト・エンジニアリング</li><li>● サポートパックの内容に関すること</li></ul>
磯	<ul style="list-style-type: none"><li>● プログラミング</li><li>● データ分析とデータの可視化</li><li>● Web開発</li><li>● 映像編集</li><li>● 画像処理</li><li>● デザイン作品・出版物の作成</li><li>● 情報理論</li></ul>



[https://www.tokoha-u.ac.jp/media/2024\\_07-syakaikankyau.pdf](https://www.tokoha-u.ac.jp/media/2024_07-syakaikankyau.pdf)

➔ 1年次で学習した  
「PBLで必要とされるスキル」を、  
2年次以降でも活用してほしい！

# 今後のスケジュール

実施時期	実施内容
4月	事業の公表と学生募集
4月～7月	テーマ①：サポートパック導入、課題設定、 自主学習スタート テーマ②～⑤及びその他テーマ： 事業の設計、計画立案
8月	テーマ①：自主学習の実施 テーマ②～⑤及びその他テーマ：計画申請
9月～12月	テーマ①：自主学習の実施、 学修成果の取りまとめ テーマ②～⑤及びその他テーマ：活動前準備①
1月～3月	テーマ①：学習成果の発表 ならびにフィードバック テーマ②～⑤及びその他テーマ：活動前準備②

ご清聴、ありがとうございました！